

令和8年第2回(3月)定例会

議長

休憩前に引き続き、会議を再開いたします。  
次に、質問順位3番 6番議員 上田丈二議員。  
上田議員。

上田議員

おはようございます。では通告に従って質問致します。  
最初の質問、和木町の道路積雪対策状況について質問致します。

今年の1月2日と、2月10日に雪により町内の道路に積雪があり、特に2月10日は17年振り的大雪により積雪で、車の通行に支障が及ぶ事態が発生いたしました。

特に蜂ヶ峯への道路(駒ヶ迫鍛冶屋作線)は、25台余りの車が動く事が出来ずに、翌日まで止めたままであったと聞いています。

町では、事前の積雪への対策はどのように行い、また積雪後の道路への対処は、どのようにされたのでしょうか伺います。

議長

坂本町長。

坂本町長

はい、それでは上田議員さんのご質問にお答えをいたします。

和木町における積雪等の安全対策について、ご説明をさせていただきます。まず事前対策ですが、毎年12月初旬に凍結防止剤を、町内79箇所に184袋を配布しております。これは、路面の積雪、凍結の時に町民の方に散布していただくためのものでございます。次に、積雪時の通常対応ですが、大和橋、及び、蜂ヶ峯総合公園の登り口からつつじヶ丘団地を通り、蜂ヶ峯防災倉庫までの区間について、早朝から業者が凍結防止剤を散布することと、しております。今、ご質問のあった今年の1月と、2月の積雪時の具体的な対応状況については、担当課長より答弁をいたします。

議長

都市、ああ、すいません片山都市建設課長。

片山都市  
建設課長

はい、1月と2月の積雪時の対応状況について、ご説明いたします。

1月は、先程町長からご説明させていただきました、通常どおり業者が早朝から凍結防止剤を散布いたしました。

次に、2月8日から10日にかけての大雪の対応について、ご説明いたします。

まず8日は、早朝、通常どおり散布を実施いたしました。この日は夕方から大雪となり、業者と対応について協議をしましたが、日没もあり、作業員の安全確保のため散布は、実施いたしませんでした。

9日は、早朝から散布を予定していましたが、20cm以上の異常な積雪となり、凍結防止剤の散布では対応できないと判断し、午前中は業者に待機を指示しました。午後から、気温も上がり、大和橋、および蜂ヶ峯団地への道路の凍結防止剤の散布を行っております。また、この日は、通常対応に加え、瀬田河川プール付近から大谷地区への道路についても、散布を行っております。

10日も、早朝から大和橋、蜂ヶ峯団地への道路、大谷地区への道路の散布を行いました。正午頃には、概ね通常どおり通行できる状態となりました。

以上が大雪の対応となります。

議長

上田議員。

上田議員

はい。対応と対処については、お聞きしまして理解しました。町の方では事前に準備をしていたってということで、なかなか10日の日も20cm以上の積雪で、なかなか対応が難しかったということも理解いたしました。

この役場で行う積雪の対処に対してなんですけれども、優先順位があれば教えていただきたいと思います。

議長	片山課長。
片山都市建設課長	はい、積雪時の対処に対する優先順位ですが、大和橋及び蜂ヶ峯団地入口からつつじヶ丘団地、蜂ヶ峯団地への道路を優先として考えております。
議長	上田議員。
上田議員	<p>はい。まあ道路通行の多い場所とか傾斜地で積雪が多い場所、車が通行の障害になるところですね、そこが優先としてるということですね、理解いたしました。</p> <p>道路の積雪や凍結による事故を未然に防止するための安全対策として、融雪剤や凍結防止剤を道路に散布するのが最も効果的となっています。</p> <p>和木町の特に2月10日の大雪にそなえた融雪剤、凍結防止剤に対しての安全対策への実施状況をもう一度詳しく教えていただきたいと思います。</p>
議長	片山課長。
片山都市建設課長	実施状況については、先ほどご説明させていただいたとおりです。安全対策としては、交通量が多く平坦ではない大和橋への散布、道路勾配がきつい、蜂ヶ峯団地への道路の凍結防止剤の散布は、適切な対応であったと考えております。
議長	上田議員。
上田議員	はい、事前に融雪剤や凍結防止剤を各所に設置したということですがけれども、私自身が大谷の自宅に11日ですね、午前11時頃なんですけれども、帰る途中でトラックが積雪で動けなくなっており、融雪剤を探しましたが、見当たりませんでした。しょうがなく上の方からトラックが来て、融雪剤をまくト

## 令和8年第2回(3月)定例会

ラックだったんですけれども、その方たちがスコップを持っていたんでそのスコップを使って、雪を除雪して動かすことができたんですけれども、後で近くの方から聞いたのですけれども、以前雪が多かった時には融雪剤を自分たちで事前に撒いたり、無くなれば役場に連絡していたそうなんですけれども、ですがこの10年あまり雪が多く降らずにいたこともあってこの雪や凍結に対する対策や役場に連絡する事が現状では十分に伝わっていないのではないのでしょうか。

今後も凍結や大雪で道路が積雪により支障が及ぶ事態が起きると思います。

又、融雪剤や凍結防止剤は成分の塩化ナトリウム、塩化カルシウム、塩化マグネシウムなどは金属の腐食を速めてしまうことで車が錆びやすくなります。また植物の生育にも塩害の可能性があったり、発熱をする性質で皮膚についたりすると炎症を起こすことがあります。

撒くときには、メガネやマスク、ゴム手袋を着用して体に薬剤がかからないように注意をする必要があります。

融雪剤や凍結防止剤の取り扱いや役場への連絡などを自治会や町民に対して再度確認や通達をした方が良いと思うのですがいかがでしょうか。町長にお尋ねいたします。

議 長 坂本町長。

坂本町長 失礼いたしました。ただ今、上田議員さんより安全対策、塩化カルシウムですか、あの融雪剤、非常に危険を伴うこともあるので周知というご質問をいただきました。

今後の対応についてはですね、広報に載せたりですね、アイキャン文字放送、ホームページ等々でですね、周知をしっかりとしまいたいと思います。

議員さんおっしゃられましたように、ここ何年間かそういった10cm以上の積雪ございませんでしたので、町民の方もですね、そういう場合の対応等、分からないこともあったかとは思

います。そういったことが起きないようにですね、来シーズンは積雪前に広報等々で十分周知してまいりたい、このように考えております。

議長 上田議員。

上田議員 はい、私自身も積雪に対して対応したことは、なかったものですから、この凍結防止剤やそういったものをどうやって撒いたらいいのか、そういったものに対して注意書きがしてありませんよね。置いてありますだけです。そういったものに対処する方法というものが分からなかったり、役場に対して無くなれば連絡する、という事なども知らなかったりとか、しています。10年間の間に町民の方たちもかわったりとかしてると思いますので、その方法や対処については再度十分に町民の方たちに伝えるように努力をお願いしたいと思います。よろしくお願いいたします。

続いての質問、町内公共施設のネット環境整備について伺います。

自治体の公共施設におけるネット環境、特に公衆ネット環境の整備は、単に利便性の向上にとどまらず、「災害対策」「住民サービス」「地域活性化」の3つの観点から不可欠なインフラとなってきました。

まず災害対策としての観点から災害発生時に、公共施設は避難所や防災拠点となることから、保健相談センター、総合コミュニティセンター、総合福祉会館、瀬田分館、関ヶ浜分館などについて、ネット環境整備の検討が必要だと考えます。コミュニティセンターは、昨年秋までは、ネット環境が整備されていましたが、今は整備をされていません。

今後の災害対策として、先ほど上げました施設に対してネット環境整備を検討できないでしょうか伺います。

議長 松井企画総務課長。

- 松井企画  
総務課長 はい。お答えいたします。  
まず、ご質問にありました施設につきまして、インターネット環境があるのは保健相談センター、総合コミュニティセンター、それから総合福祉会館の3施設ございます。ただし、いずれも来客者が利用できるようなWi-Fiは整備されていないと、現状そういうふうになってございます。
- 議長 上田議員。
- 上田議員 利用者が利用できない整備ってというのは、やはりちょっと問題があるのではないかと考えるのですけれども、やはり災害拠点となっておりますので、そこを利用する方たちが利用できるようなネットの整備環境が、必要だと考えます。そしてコミュニティセンターですけれども、以前はついてたんですけれども、今はついてないってということで、やはりコミュニティセンター、一番最初に災害の拠点となる場所です。そういったところにはネット環境の整備が早急に必要だと考えますけれどもいかがでしょうか。
- 議長 鳥枝教育委員会事務局長。
- 鳥枝教育委員会事務局長 はい、総合コミュニティセンターのWi-Fiにつきましては、各階、各フロア2か所ずつですね、Wi-Fi機器を設置するための予算を、新年度予算をですね、計上させていただいております。
- 議長 上田議員。
- 上田議員 はい、今、予算を計上しているってことで理解いたしました。よろしくお願ひしたいと思います。  
次に、住民サービスの観点で住民サービスの向上とデジタル

令和 8 年第 2 回(3 月)定例会

化の推進、町民の利便性向上として、町役場、和木町文化会館、図書館へのネット環境が必要です。

現状では、図書館には、ネット環境が整備をされていませんが、図書館は町民や町外の方も利用されておりますし、特に小中学生はタブレットを使っての授業をしている事を考えると、図書館を利用する子どもたちが学習の上でネット環境の整備について必要と考えます。

図書館へのネット環境整備を検討できないでしょうか伺います。

議 長 鳥枝局長。

鳥 枝 はい。先程コミュニティセンター 2 か所、各フロア 2 か所と  
教育委員会 いうことでお答えしましたけれども、図書館についても、だから  
事務局 長 2 階のですね、2 か所のうち 1 か所、図書館内に設置する予定と予算を計上さしていただいております。

議 長 上田議員。

上 田 議 員 図書館についてもネット環境の整備も予算計上してるって  
ことで安心をいたしました。ぜひお願いいたします。

3 つ目の地域活性化では、観光振興として地図や体験情報の収集・発信をしやすいするために、和木駅、蜂ヶ峯公園にネット環境整備がされています。

契約会社との関係でネット環境の継続が出来なくなると聞きましたが、今後の状況を伺います。

議 長 松井課長。

松 井 企 画 和木駅、それから蜂ヶ峯総合公園でございますが、こちらの  
総 務 課 長 Wi-Fi は、平成 2 9 年度「やまぐち観光地魅力度アップ支援事業補助金」を活用して、来訪者、それから外国人観光客の利便

## 令和 8 年第 2 回(3 月)定例会

性向上、災害等緊急時の通信手段を提供するために整備したものでございます。平成 30 年 3 月 1 日から利用を開始しております。ただ今年度をもって耐用年数を迎える、迎えますことから、継続の必要性、これを内部で協議いたしました。近年では、個人のスマホ等で利用する回線の通信速度、こういったものが向上していることや、個々に応じた、ご自身に応じた通信利用プランの充実によりまして、Wi-Fi 環境の需要が低下もしておるのも事実でございます。昨年度からその必要性について協議を行い、今年度 3 月末をもって、ここの 2 か所の Wi-Fi については廃止することとしております。

なお、B e e + エリアにおきましては、一般社団法人地域振興協会が Wi-Fi を整備しており、管理棟、地域振興協会の芝生広場、その辺りまでは来場者の皆さまにもご利用いただけるというようになっております。

議 長 上田議員。

上 田 議 員 ちょっと理解に苦しむ点が多少あったんですけども、個人の携帯などで Wi-Fi に対する設備の必要性がないんじゃないかという事だったんですけども、先程から蜂ヶ峯公園、和木町にとっては十分な環境資源となっておりますし、これからも発信をしていかなきゃいけないという面では、利用者の方からもそういった利用、蜂ヶ峯に対しての発信をしてもらう、そういったことや和木の中の地図の状況を把握する面でも Wi-Fi 環境というのは、ネット環境ですね。そういったものに対しては必要不可欠になってきてるとおもうんですが、逆にですね。そういったものを考慮して、無くしていくっていう方針で考えていくのはいかがなものか、と思うんですよね。国からも地域においてのネット環境は、整えていくべきであるというふうにされています。それを個人の携帯の形が普及しているので失くしていく、というふうに考えていくのは果たして、いかがなものかとは思いますが。国の方針でもあるネット環境を自治体の方で整

えていくっていう方針に従えば逆行しているんじゃないかというふうに考える訳です。そういった面でもぜひ検討をさせていただきたいと思っております。

その上で、4つ目の質問をいたしますけれども、和木町の公共施設のネット設備についてお尋ねしたんですけれども。この公共施設にすすめるには、財政上で設備投資や維持費などを考えると厳しいということで先程の形になったとおもうんですけれども、先程も言いましたけれども、ネット環境整備で地方自治体が主体となって整備する場合や自治体内の事業者を支援する補助制度があると聞いています。

最初に申しましたけども、公衆ネット環境は災害対策、住民サービス、地域活性化などから必要なインフラとなってきています。

国や県の補助制度を利用して、町内の公共施設へのネット環境整備の充実は出来ないでしょうか。再度伺います。

議 長 松井課長。

松井企画  
総務課長 先ほどのご質問でもお答えしたところでございますが、過去に補助金を利用してWi-Fiを整備した実績、和木町でもございます。当時は、特に外国人観光客の増加によるインバウンド需要に対しても、国も力を入れており、ネット環境整備に関する補助金制度もございました。しかしながら、その後、新型コロナウイルス感染症の拡大により、観光客は減少。それから一方で、通信環境の向上、通信プランの大容量化等が、進んだことによりまして、Wi-Fi環境の需要は、その当時と比較いたしまして、低下しているというふうに考えております。また、ネット環境の整備について、補助制度の有無を調べてみましたが、現在では和木町が活用できるような、そういった制度はないものというふうに認識をしております。

町内の公共施設へのネット環境整備につきましては、機器の設置、維持、更新に多くの費用も発生するのも事実でございます。

す。Wi-Fi環境の需要低下のこともございます。先ほど、教育委員会の方からも図書館のWi-Fi設置、こちらの方も来年度予算を、予算案を上程さしていただいていると、いう事も申し上げさしていただいております。他の施設につきましては、現状以上の整備を行うということは、現時点で想定はしておりません。

議長 上田議員。

上田議員 はい、状況に対しては伺いましたけれども、今のところ国の制度は、では利用できるものがないということだったんですけれども、調べてみたら国の方ではやはり自治体に対する環境整備を整える継続して行うっていうことは発表していたようなんですよね。それに山口県自体も、そういった新たな補助制度を作っているというふうな形を発表されたと思うんですけれども、その中で和木町が活用できる補助制度も出てくると思うんですよ。

次に質問いたしますけれども、国や県のこの制度を利用してですね、個人や商店などのネット環境を整備する目的として、町独自の補助制度を検討出来ないでしょうか。ことをお聞きしたいんですけれども、子育て世帯の学習環境の整備支援として、オンライン学習やタブレット端末の使用を支えるため、中学生以下の子どもがいる世帯や低所得世帯を対象とした支援が、他の自治体でも目立ってきています。

熊本県菊池市や福島県福島市、愛知県宇和島市、町では長野県の小野町が、などがネット環境を整える際の費用の一部を支援する制度を作っています。

この際の財源として国の移住・テレワーク促進の支援制度の補助金を活用しているケースが多いようです。この支援の補助金なんですけれども、移住だけでなくも割と柔らかな形で対応して補助を使えるっていう事を利用して、町民に対してのネット環境の整備に対する補助金制度を、町独自から作って

令和8年第2回(3月)定例会

るようなところが多いようなんですよね。そういうところもちょっと調べていただきたいと思うんです。

和木町においても、子育て世帯の学習環境整備支援としてネット環境を整える際の支援制度を考えて頂けないでしょうか伺います。

議長 鳥枝局長。

鳥枝教育委員会事務局長 はい、今のご質問ですけれども、自宅にインターネット環境のない児童、生徒に対し、家庭学習をするための Wi-Fi ルーターを貸出す要綱(これと和木町家庭学習用モバイル Wi-Fi ルーター貸出事業実施要項)というものを、は、令和4年度に制定しているところでございます。

議長 上田議員。

上田議員 分かりました。和木町の方で貸し出して、その状況に対応しているということですね、はい、理解いたしました。ありがとうございます。

以上で、私の一般質問を終わらせていただきます。ありがとうございます。

議長 再質問がないようですので、以上で、上田丈二議員の一般質問を終わります。